

## 海況速報

平成 14 年度 第 3 号 (通算 No.87)  
平成 14 年 8 月 20 日  
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは  
中央水産試験場 海洋環境部  
Tel 0135-23-4020

海洋環境部ホームページでもごらんになれます。

アドレス：<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/>

## 7 月下旬から 8 月上旬の海況

日本海海域

### 対馬暖流順調

前回 (6 月) 奥尻島西方にあった暖水渦は見えなくなりました。北部日本海では、天売・焼尻島沖の北緯 44 度 30 分、東経 140 度 40 分付近で水温がやや低くなっています (100m 層で 7 以下)。本道西岸の対馬暖流は、積丹半島西方はるか沖を礼文島西方まで北上する流れと、積丹半島から石狩湾口に沿って沿岸を北上する流れに分かれているようです。水温についてみると、平年より低いところが多くなっています。

余市における 7 月上旬以降 8 月上旬までの沿岸水温 (旬平均) は、7 月上旬の「やや高い」から 7 月中旬には「かなり低い」となりましたが、その後 8 月上旬まで「平年並み」で推移しています。

道東太平洋海域

### 親潮でおおわれる

道東海域は、親潮 (100m 層で水温 2 以下) に広くおおわれています。北緯 41 度、東経 143 度 30 分付近に 100m 層で 4 以上の暖水がありますが、北緯 41 度線の 100m 層では水温は前回 (6 月) より低下しており、前回、北緯 41 度以南にあった暖水塊は、その後北上していないようです。水温についてみると、0m 層および 50m 層で平年よりかなり低いところが多くなっており、その他の層ではやや低いところが多くなっています。

道南太平洋海域

### 津軽暖流は渦モード

100m 層で 10 以上の津軽暖流は、襟裳岬南西方の東経 142 度 40 分付近まで張り出しており、渦モード (\*1) となっています。また、50m 層で 10 以上の津軽暖流水が噴火湾口北部の室蘭沖側から噴火湾内に流入しようとしています。水温について、平年並みからやや高いところが多くなっています。

オホーツク海海域

### 冷水帯出現

表面水温 15 以上の海域は網走沖まで達しており、50m 層でも知床半島沖まで 11 以上となっていることから、宗谷暖流は順調に流れているようです。宗谷海峡東方から浜頓別沖にかけて、宗谷暖流の沖側に表面水温で 9 以下の冷水帯が形成されています。水温についてみると、全体的に平年より低く、表面水温ではかなり低くなっています。最も岸側の観測点では、全域で平年より約 3 低く、沖のオホーツク海表層水では平年より 5 以上低いところも見られます。

\*\*\*\*\*

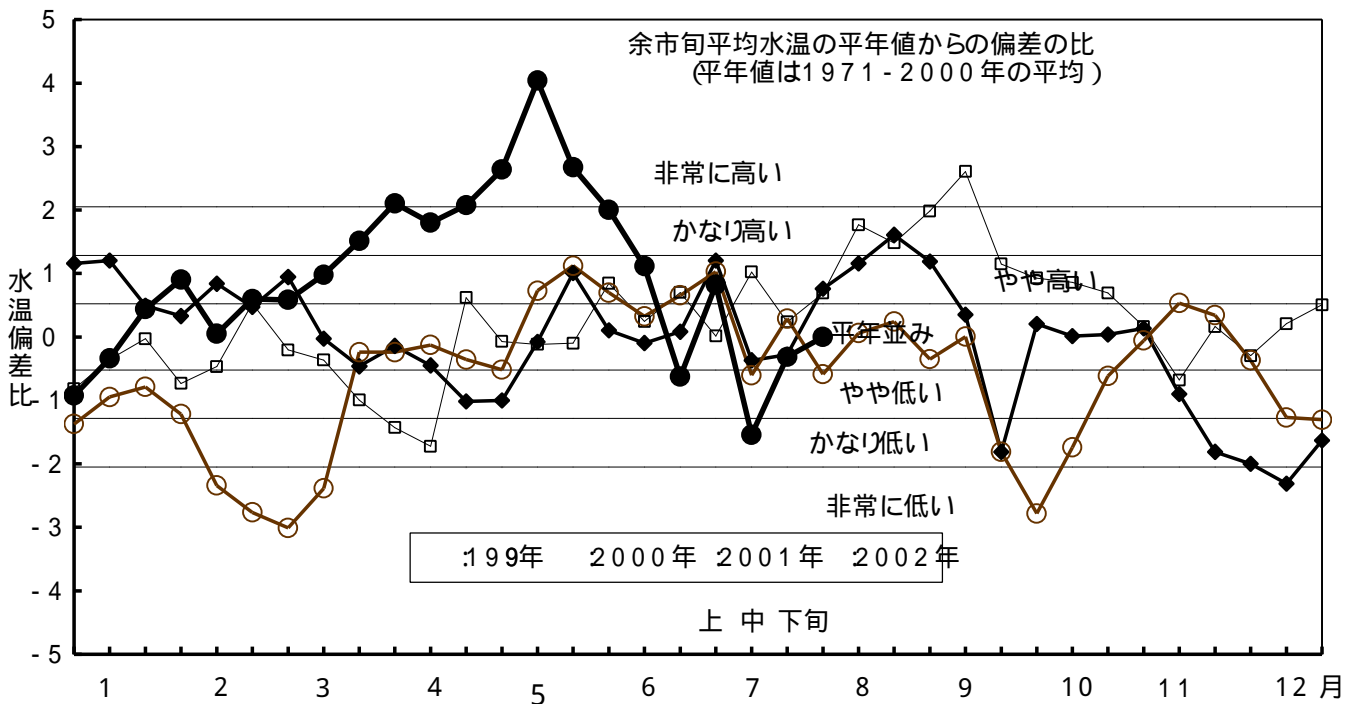
資料

観測期間

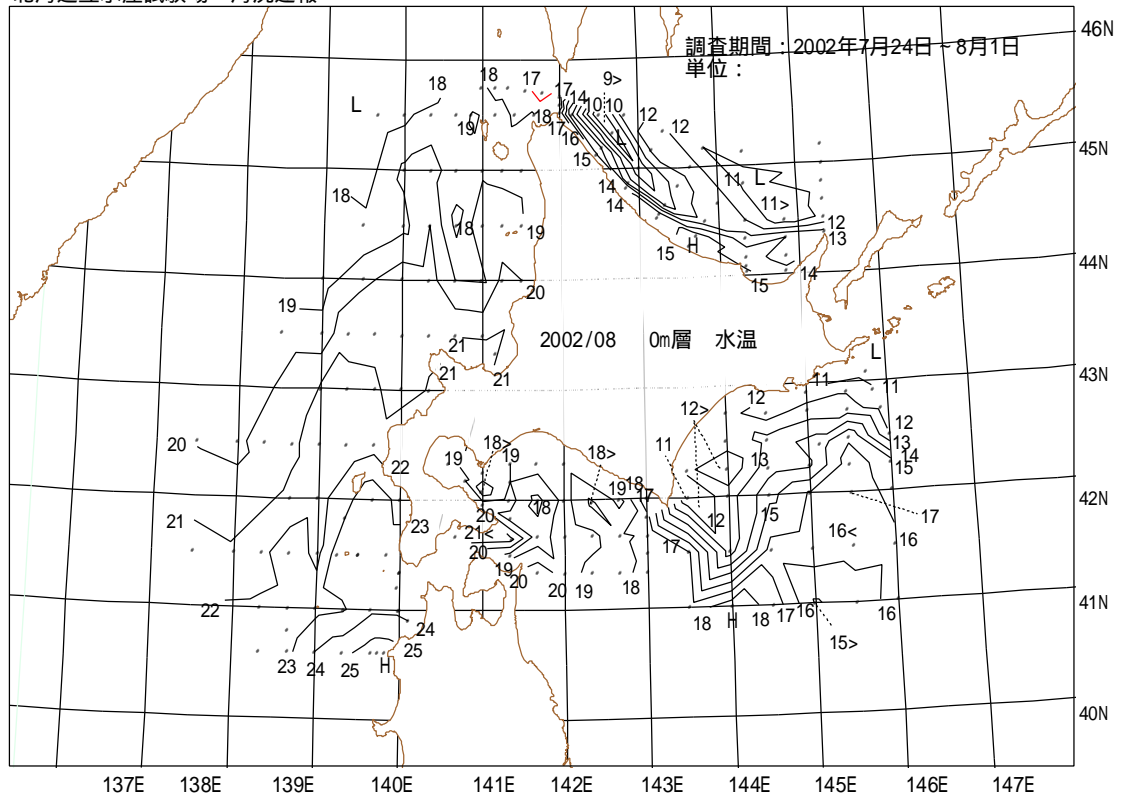
青森水試（東奥丸）	平成 14 年 7 月 29 日から同 8 月 30 日	（東北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	平成 14 年 7 月 22 日から同 7 月 24 日	（オホーツク海南東部海域）
稚内水試（北洋丸）	平成 14 年 7 月 29 日から同 7 月 31 日	（道北日本海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成 14 年 7 月 29 日から同 8 月 1 日	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成 14 年 7 月 29 日から同 7 月 31 日	（道南太平洋 & 津軽海峡西部海域）
中央水試（おやしお丸）	平成 14 年 7 月 24 日から同 7 月 26 日	（オホーツク海北西部海域）
中央水試（おやしお丸）	平成 14 年 7 月 28 日から同 8 月 1 日	（道西日本海海域）

\*\*\*\*\*

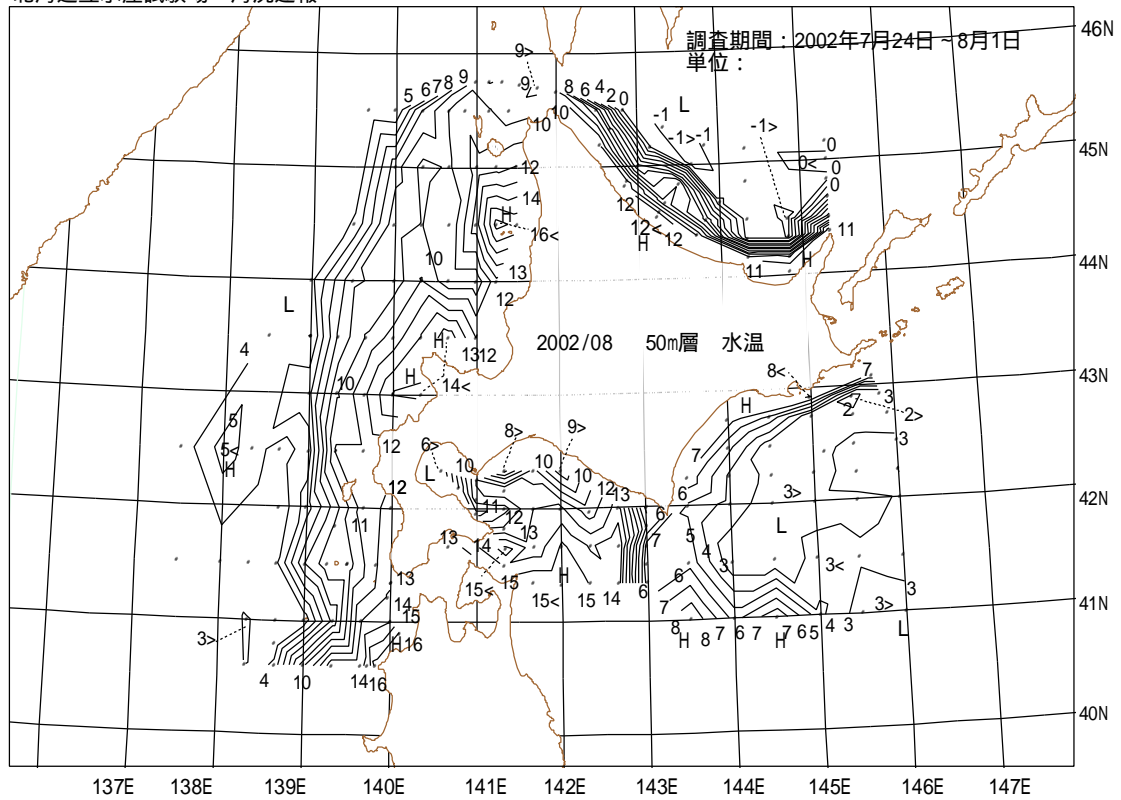
\* 1：津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



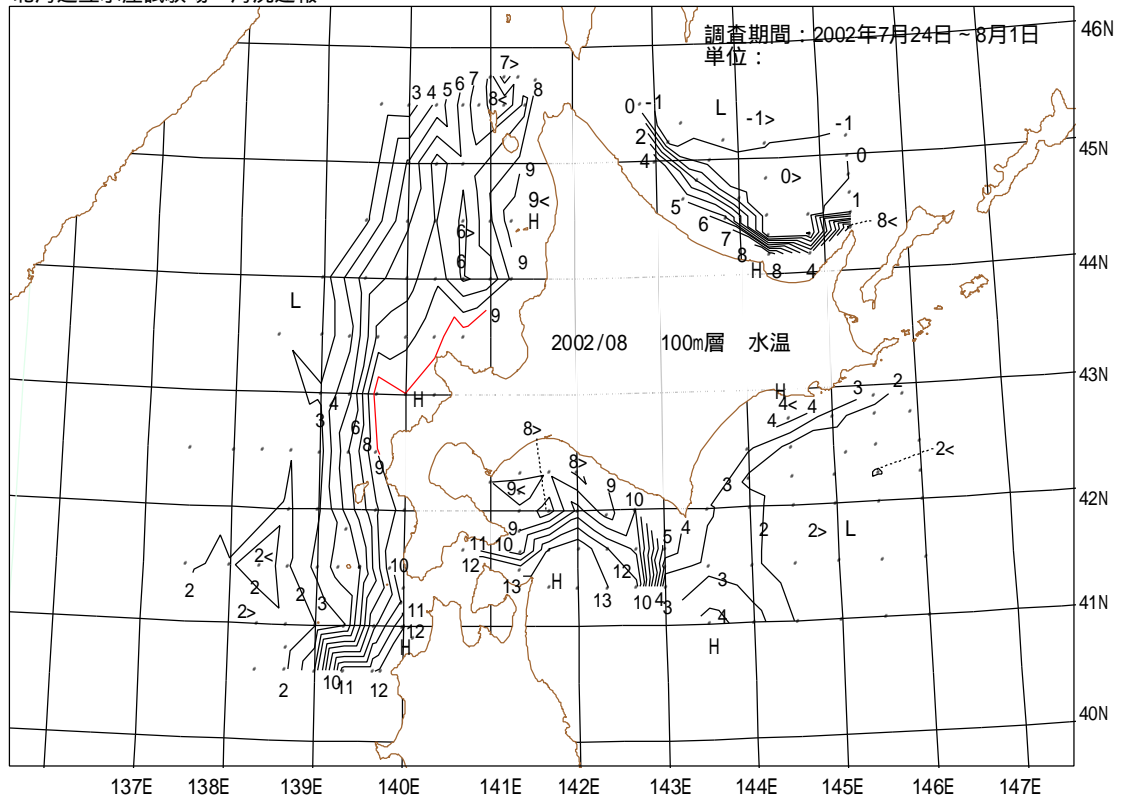
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

